

2026 年度化学への招待-弘前大学一日体験化学教室開催報告

弘前大学大学院理工学研究科 鷺坂将伸

今年の「化学への招待-弘前大学一日体験化学教室」は、2026 年 7 月 25 日(土) 12:15~16:30 に弘前大学理工学部・教育学部・農学生命科学部を会場として開かれ、青森県内の高校生を中心に 49 名が参加しました。

最初に「化学がつくる、私たちの暮らしと未来 ～ノーベル化学賞から考える～」と題し、弘前大学大学院理工学研究科の岡崎雅明教授が、日本の化学技術の現状や化学による素材開発、ノーベル賞を受賞した物質、高校と大学の化学の違いなどわかりやすく紹介してくださいました。

その後、参加者は、以下の 11 の実験テーマに分かれて、実験担当教員の研究室に移動し、実験を体験しました。実験テーマ：「色で測る!!-ドリンク剤中の鉄の定量-」（北川文彦先生）、「見えない世界が見える？ X 線でキラキラ結晶をのぞこう」（太田俊先生）、「果物のにおいを作る」・「ルミノールを用いた発光反応」（川上淳先生）、「葉緑素の正体を暴け！-水素結合の違いによって成分を分離-」（関谷亮先生）、「DNA 抽出実験+VR で見る！-光るタンパク質の正体-」（栗田大輔先生）、「まるで生き物！？温度を感じるふしぎなプラスチックをつくる」（呉羽拓真先生）、「色の変化を追跡せよ！錯体における置換反応速度の解析」（島田透先生）、「コンピュータの中で分子をつくる」（山崎祥平先生）、「色が変わる無機高分子」・「色素増感太陽電池」（阿部敏之先生）、「医療分野で活躍する磁性ナノ粒子をつくる」（松田翔風先生）、「電気を通すプラスチックをつくってみよう」（竹内大介先生）

参加者は皆さん、真剣に実験に取り組み、「まだ高校で習ってないものがたくさん出てきたけど反応が面白く、楽しむことができました」、「化学薬品の組み合わせでさまざまなにおいを作れたり発光させたりできるのが面白いと思った」、「学校で実験をすることがなかったので、実際にやることでより理解できたし、もっと色々な実験をしてみたいと思いました」など、多くの好意的な感想を頂きました。座学だけでなく、実際に実験を体験することで化学の面白さを実感してもらえたのではと感じております。

このように化学への招待は毎年好評を得て、盛況に終えています。今後も継続して開催する予定であり、中高生および一般の方々が化学に興味を抱くきっかけとなる楽しい講演や実験を提供していきたいと思っております。今後とも本事業へのご参加やご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



図1 岡崎先生の講義の様子



図2 実験Aの様子



図3 実験Bの様子



図4 実験Cの様子



図5 実験Hの様子



図6 実験Iの様子



図 7 実験 D の様子

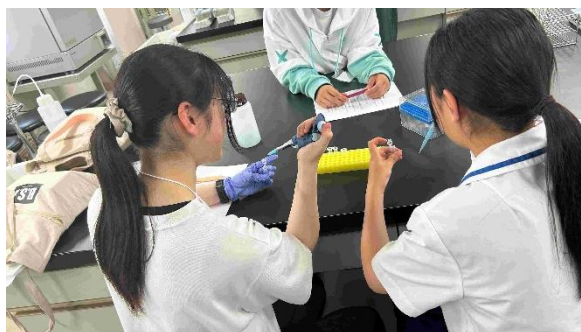


図 8 実験 E の様子